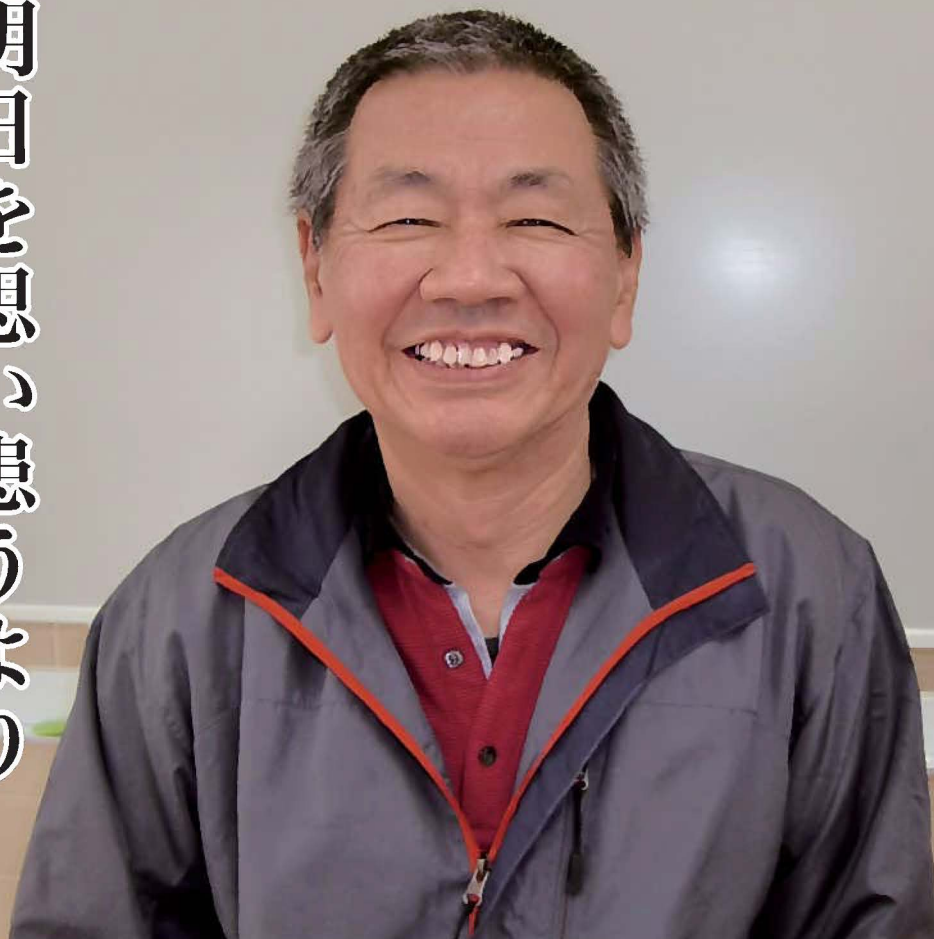




アンビシャス

明日を思い患うより
今日を精一杯生きていく



表紙は語る

「脊髄小脳変性症」

アンビシャス通信

4月の報告あれこれ

こころの現場から

ヒトツナギの志

シリーズ 最終回

『患者の力』加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

沖縄県内難病患者団体一覧

アンビシャス広場

エッセイ 諸喜田 美智代さん

患者団体からのお便り

読者の声

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

編集後記

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

表紙は語る

仲西 智春（なかにし ちしゅん）さん

脊髄小脳変性症

明日を思い患うより
今日を精一杯生きていく

私は脊髄小脳変性症です。身体障害者2級です。今の症状は、歩行困難でふらつきがあり、杖なしでは1歩も歩けません。意外にも車の運転だけは大丈夫です。日常生活においても、支障なく全て自分で出来ます。また、以前程の能力はありませんがちよつとした農作業も楽しんでます。

自分で出来る事は自分であることを日々心掛け、失敗を案ずることよりも失敗した後どうするかを考えればいいなどと積極的な気持ちで頑張っております。

長年、足が思うように動かない異変に気づき30年前から何度も大手総合病院、県立病院、大学病院でも検査

を受けましたが原因が分からず、成す術もなく悶々とした日々を過ごしていました。当時はMRI検査機も少なく神経内科もない時代でした。若かりし頃は陸上競技選手として、地域ではちよつと名前の知れたスプリンターでもあり、「歩行がおかしいなどとはとても信じがたい」と言われたほどでした。当時はまだまだ元氣であらゆるスポーツをやり、草野球メンバーからも十分に走れない原因は日頃の運動不足ではないかと言われる始末でした。

様々に紆余曲折を経て頑張つて来たつもりでしたが、これ以上区民の皆さんに迷惑をかける訳にはいかないと地方自治会役員職も辞め、妻が経営する書道教室の手伝いをする決心をしました。

ところが4年ほどしてから思わぬ発熱で倒れ、救急車で運ばれそのまま検査入院しました。結果は腎盂尿管移行部狭窄症と診断され、手術を受けました。3か月にも及ぶ長期入院生活でした。

後で分かった事ですが、それが難病の

予兆でした。長女がアメリカ留学した年でもあり、意気消沈した辛い日々を過ごしました。歩行困難の原因は分からないし、途方に暮れ、もうこれ以上どうしようもないだろうと諦めていた時期があり、病氣の原因究明も断念していました。

しかしこのまま人生を閉じて堪るかと思ひ立ち、自分自身のためにもカイロプラクティクスを勉強しました。そして開業までしましたが、次第に自身の立ち振る舞いもままならず2年ほどで辞めました。

それでも店を畳んだ後も腰痛に悩む人達が来れば店の事情を説明して、心の持ち方ひとつで「今日も笑顔でいよう」「優しい気持ちでいよう」と感謝の気持ちで過ごせば腰痛も楽になるよと教えたら、ホントに治ったと感謝された程です。

数年の時を経て二人の娘たちも嫁ぎ、三人目の孫が産まれた3年前、6歳前に国民年金受給手続きに年金事務所を何度か訪れた時、私の症状を見た職員の方から「念のため障害者年金手続きも同時にしたらどうですか?」と勧められ、意を決し再度、病氣の原因究明を思い立ち中部保健所の助言、整形外科病院の紹介を経て、沖縄病院に40日の長期入院検査することになりました。何しろ担当医が若い美人の女医さんだったから、入院検査も苦も無くワク



いろいろなリハビリで筋力維持に努める仲西さん

ワクしながら受ける事が出来ました。結果、難病の脊髄小脳変性症だと診断されました。

さすがに難病だと言われた時にはちよつとショックでした。既に大殿筋が消滅しており、歩行困難の原因はこれだったのかと妙に納得しました。沖縄病院を退院した後、今度は腎臓結石が見つかり、再度、手術を受けました。

これから年月と共に出来ないことが増えるかも知れないけれども、嘆く代わりに「自分で出来る事は何か」と考え努力する覚悟です。変わりゆく自分を受け入れ、常に新たな方法を模索しながら、心の安定だけでなく豊かな人生感を達成したいと

願っています。

その後、沖縄病院の主治医の薦めで、2、3の病院でのリハビリテーション施術を経て、現在では難病専門リハビリテーションのコザクリニックス病院で、週3回リハビリを受けています。主なりハビリメニューは、個別リハビリ(ストレッチ・機能向上回復訓練)、物理療法(干渉波、ホットパック・メドマー等の温熱療法)、自主訓練によるニューステップ(全身運動、上下肢の筋力強化、循環器系持久力強化)などを受けています。

特にコザクリニックスでは個別リハビリの担当理学療法士さんから、理論的な学術的な方法で、これまで培われて来た自分自身の筋力プログラムを一旦崩して、新たな方法で矯正して行きましようと言われた時、正直驚き、ある種の感動を覚えました。やつと難病専門リハビリテーションを本格的に受けられると感激しました。

それから、今まであまり使われず動きが制限されて硬くなり、萎縮してしまつた筋肉や関節を理学療法士さんが懸命にストレッチでほぐしてくれたのです。

小脳は脳細胞がダメージを受け機能を果たせなくなつても、大脳が代わってコピーして機能を担う働きがあると聞いた事があります。リハビリによる脳への刺激、アプローチが新たな神経回路を作つて機能を獲得するのではないかと密かに期待して

います。

「諦めてはいけない、気持ちに伴わないうりハビリからは改善は産まれる筈がない」と自分自身に言い聞かせリハビリに励んでいます。

それからこれまで揺れていた体幹保持がみるみるうちに改善され矯正され良くなった成果は、言葉で言い表せないぐらいです。

理学療法士さん、作業療法士さん及びスタッフの皆さん「ありがとう！」

特に難病を患つてからパソコンを通じてインターネット交流、フェイスブック(FB)仲間たちとガーデンBBQ(バーベキュー)を開催したりして、またランチ会等を通して難病患者、健康者問わず、皆でコミュニケーション



定例のランチ会メンバーとの楽しいひと時。

を楽しんでいます。

それぞれの分野の仲間たちとの交流は、様々な事を教えられ気づかされ、人のつながりの重要さを学んでいます。コミュニケーションも立派なりハビリなのです。

「悩み苦しみを半減して、喜びは倍増してくれる友は実にあり難い事です。」そして、人生の楽しみに、元同僚たちとの模合があります。

かつて、それぞれの地域の伝統や文化維持に努め、さらに高めていく誇りと気概の自慢話はお互い極めて愉快な事です。ほとんど他愛もない酒盛談義に過ぎませんが、お互い世界に誇れる「うちなー」の良さを伝えていきたいと居酒屋で不断の努力をしております。(笑)

現在、取り込んでいる事は、沖縄本島中部の脊髄小脳変性症、患者・家族の友の会結成を目指して、4度目のユンタク会も持ち、いつか結成出来ることを念願しています。

語者プロフィール

仲西 智春さん

(なかにし ちしゅん)

【出身地】うるま市生まれ(66歳)

【趣味】パソコン

【家族構成】夫婦二人

【口 課】週3回のリハビリ

【好きな食べ物】沖縄そば

【好きな作家】渡瀬夏彦

【最近の楽しみ】Facebook

2月の報告

あれこれ



在宅難病患者関係者会議

沖縄県では各保健所主催で管轄の関係機関が定期的に集い課題の共有や解決に向けて検討しています。アンビシャスでは離島を含め可能な限り全ての関係者会議に参加させてもらっています。最近のテーマは災害対策で特に台風対策を検討しています。台風は予測でき、毎年のように襲来する災害です。台風時の連絡体制、避難方法、停電時の対策などを話し合っています。地域によって異なる課題はありますが、共通する部分も多く、その殆どに参加しているアンビシャスには、その集約した情報提供が求められています。ホームページでも事例集等を紹介するようにしていますので、ご照くください。



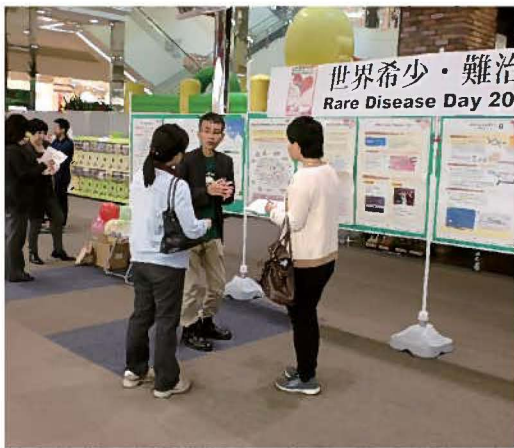
全国難病センター研究会

21日、22日の両日に第23回研究大会が高知県で開催されました。全国の難病相談支援センター従事者が日ごろの課題や解決方法などを発表しスキルアップを図っています。今年は厚生労働省から法律の件、就労支援、意思伝達手法の件などの発表が多かったです。アンビシャスでは当日の様子を生放送するとともに、録画映像をホームページへアップの準備中です。遠くて参加出来ない方などが旅費をかけなくてもスキルアップ

になればとの思いで活動しています。沖縄も離島を多く抱えている県なので、離島の皆様へ情報格差の解消に努めている情報発信事業の一環です。ビデオ機器などは皆様のご寄付を活用させて頂いています。改めて感謝申し上げます。

世界希少・難治性疾患の日

2月28日は世界希少・難治性疾患の日(RDD)として日本を含め世界各国で難病について考える日として各地でイベントが開催されました。沖縄ではイオン琉球様



のご協力を頂き、イオン南風原4ショッピングセンターを会場にパネル展を開催しました。

展示説明では多くの方がパネルに見入り質問等も数多く寄せられました。また今年法律として初めて難病法が施行され、新たに医療費助成の対象となる疾患の方も来られ、制度のこと、申請方法など熱心に質問されていました。

自分の疾患が難病関連法における対象疾患に該当するかどうかについて、当事者本人への周知が充分されていない現状も確認、アンビシャスとしてやるべきことがまだ多くあると改めて考えさせられました。



こころの現場から

人物画の活用

人の心理状態は、絵に如実に現れると心理学では考えられています。わかりやすい例を取り上げると「ムンクの叫び」では、画家自身の凄惨な心理状態がよく現れているといえます。

ピアサポートやグループカウンセリング、自己分析では、わかりやすく心理状態を把握し、よりよい自分になったり、より友好的にピアサポートを行ったりするために絵を活用することがしばしばあります。

今回は、人物画を考えてみます。

方法は、A4もしくはB5の紙と鉛筆を用意し、自分と同性の人物画を好きなように描きます。

人物のどこの部分から描いても構いません。

どんな姿勢でもどちらを向いていても構いません。もしよかつたら、試しにお描きください。

(下に絵の分析例を載せますので、描いてから御覧ください)

以下、分析例です。両手を大の字に開いている人物を描く方は、とつても頑張っている方です。また、手を後ろに組んでいたたり手を隠している人物画は、あまり他人に本心を明かしていないことが多い方だと推察します。とても線の薄い人物や小さい人物、輪郭が何本もある人物を描いた方は、自分に自信がない方です。身体の痛む部分が傷となつて表現される場合もあります。

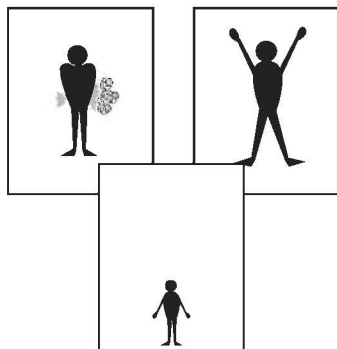
あなたは、どのような人物をお描きになりましたか。

絵の上手下手は分析に

関係しません。またあくまでも心理学における考え方の一例ですので、この人物画がその方のパーソナリティや現状を総て表現しているとも限らないこともご了承ください。

またピアサポート等で絵を活用する場合には、どのような表現であれ、描かれた作品や描き手を尊重してください。あなたの前で描き、見せてくれたことに敬意を払い対応してくださいね。

絵は、こころそのものなのですから。



臨床心理士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つぶやきチャンネル

自分をリニューアルする

今月から新年度が始まります。

会報誌もリニューアルに伴い「ヒトツナギ」コーナーを、私が日頃感じているいろんな思いや考えを、もう少し

時間、指を折りながら文字数を数えながら、色々言葉遊びをしている自分を振り返ると、「あつ、違う脳を使っているぞ」って感じました。

日々の生活で難病と向かい合いながら、病状の悪化から気分も悪化して病気に負けそうになるのですが、病気のことは病気のことで割り切り、少しの隙間の時間で、普段と違うことを頭いっぱい使うことで新しい自分が見えてくるようになっていました。新年度は忙しくなりそうだけれどリニューアルした私でした。



著:照喜名 通

シリーズ「患者の力」

慶応義塾大学看護医療学部 教授 加藤 眞三著

最終回 対話をもたらす患者と医療者の協働関係

患者と医療者が水平の関係を創るには

このシリーズも最終回を迎えました。これからの時代の新しい医療を創り出すうえにおいて患者の力が不可欠であることを理解いただけましたでしょうか。

そんなことを言っても、医療者と患者の間には圧倒的な知識の差があり、水平の関係を創るなんて無理だと思っていないでしょうか。確かに、医療の現場では、患者と医療者の間に大きな力関係の差があります。医療者は健康保険制度の下に保険で費用を出してもらい医療を提供することを認められ、患者さんは医療者に提供される医療を受けるだけという認識があります。また、医療の現場で忙しく働く医療者を前にして、ゆっくりと話を聴いてもらうことなど無理とためらうこともあるでしょう。実際、患者さんの希望に耳をかさない医療者もいることと思います。

そうはいっても、患者と医療者が水平の関係で協働するという形になってこそ、真の患者中心の医療が実現されることに、多くの方が同意されるのではないのでしょうか。では、その実現のためには、どこからそれに手をつけるかを考えなくてはなりません。

新しい道を切り拓く人

拙著「患者の力」でとりあげた、肺高血圧症の重藤啓子さん、尿管管がんと闘ったガンファイターさん、この連載で紹介した大腸がんと膵臓がんを患った山口仲美さんなどは、ある意味で患者と医療者が水平の関係を持つと奮闘し切り拓いてきた患者さんです。医師や看護師など医療者との交渉だけでなく、航空会社やJRとも交渉し、患者のために患者の力を発揮されてきました。とても、そんな強い患者にはなれないと尻込みする人もいるかも知れません。

しかし、例えば先導する重藤さんが切り拓いた道を歩むことは、それ程ハードルが高いわけではありません。前例ができたのですから。その前例をしめしながら、担当者と交渉ができるのですから。それなら、わたしもやってみようと思われる人も出てくるはずです。「いや、そんな人が沢山いてくれれば良いと思うけれど、それが100人中1人なら、わたしにはまだできない」という人もいるでしょう。それなら、100人中5人まで増えたときに行動を起こしてみませんか。いや、20人になったらわたしはできるという人もいるかも知れません。それでよいのです。

まずは、自分のできる範囲の中ですこしでも水平の関係性を築こうとすることが、医療の中に新しい文化を創り出します。わたしは、これからの時代がその方向にあることを確信しています。方向さえ誤っていなければ、少しずつでも歩んでいけば、ある日気付いたら時代は大きく変わっていることでしょう。このような自律を目指す患者さんが増えてくると、医療者の側にも時代が変わってきたことを理解し、態度に変化をみせる人も増えてくるはずです。

新しい医療を創りましょう

新しい医療がもうそこまで来ています。もうすでに、行動を起こしている患者さんがいるのです。「患者が変われば、医療者も変わる。」わたしは、現在のお任せ医療は医療者側だけの問題ではなく、患者の側にも問題はあのだと思います。昨年10月から「患者に学ぶ、患者も学ぶ」をテーマに公開講座「患者学」を慶應大学信濃町キャンパスで開講しました。そこでは、患者と医療者の水平の関係性を創り出すことを試みています。水平の関係性を目指す中に対話は成立し、対話ができることにより水平の関係性は創り出されていくのです。皆さんも、一緒に新しい医療をめざして、一步を進めてみませんか。

今月でシリーズ「患者の力」は終了いたします。全12回のシリーズを通して前向きに医療と向き合い、自分自身で毎日を切り拓いていくことの意味を考えるきっかけをくださった加藤教授に心より感謝申し上げます。次月より「患者の力」を更に掘り下げたシリーズとして加藤教授のコーナーが再スタートいたします。



慶応義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。1985年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。1985-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。その後、都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



患者の力: 患者学で見つけた医療の新しい姿
出版社: 春秋社

価格: 1,800円+税

「患者には力がある!」 毎日を健康に生きるために、そのために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2015年4月の各団体定例会・交流会スケジュール

団 体 名	日(曜日)	時 間	場 所
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	8日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階 (総合福祉センターではありません)
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の会	11日(土)	14:00~16:00	八重山福祉保健所
全国膠原病友の会・沖縄県支部	12日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所3階 多目的室C (総合福祉センターではありません)
神経難病友の会八重山	16日(木)	調整中	ピクニック ※(場所・時間調整中)詳細下記連絡先まで
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	18日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)	21日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ
強皮症・皮膚筋炎 ゆんたく会	22日(水)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	26日(日)	12:30~16:00	那覇市保健所3階
全国膠原病友の会・沖縄県支部(中部地区)	26日(日)	14:00~16:00	沖縄社会福祉センター(ゆい工房) ※(場所調整中)詳細下記連絡先まで

※詳細は下記患者団体連絡先へお問合せください。

沖縄県内難病患者団体一覧

団 体 名	代 表 者	連 絡 先
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	(宮本)090-8413-2621 (上原)070-5819-4876 http://okinawa-ibd.ciao.jp/
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	(阿波連)090-1944-2441 http://blog.kougen-okinawa.sunnyday.jp/
もやの会沖縄ブロック	金城 忠英	(金城)098-879-5591
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	(又吉)090-8294-1974
日本ALS協会 沖縄県支部	伊波多和子	(新里)090-5028-4599
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	(上原)090-7479-8841 (金城)070-5482-8541
日本網膜色素変性症協会 沖縄県支部	長嶺 房子	北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262 中部部会(金城) メール:chi070907@yahoo.co.jp 南部部会(當間) 電話:080-6495-6846 那覇・浦添連絡員(本永) 電話:098-996-1991 八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622
神経難病友の会八重山	松藤 純	(松藤)090-6635-4185 (島仲)090-8763-3670
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	(内間)090-9784-8219 (村山)090-1179-6912
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	(伊是名)090-3792-0199
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	(仲里)090-8290-3569
四つ葉の会(宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	(下地)090-5489-4109

アンビシャス

広場



エッセイ 諸喜田 美智代さん(ALS)

「歯科の訪問診療」

すごい力だ！

私の口の中を見ようと指を入れたとたん、私は先生の指を思い切り噛んでしまった。病気の症状は人それぞれ違う。

私の場合、くいしばりがとてもひどく口の中は傷だらけだ。毎日舌を噛んで出血してしまう。なにか改善出来る事はないかと色々調べていた時、患者会の仲間から口腔ケアと顔のマッサージが受けれる訪問歯科診療の話聞いて、私も利用出来たらと思っていた。今月から隣の歯医者さんの訪問歯科診療を週一回受けることが出来るようになった。先生のアドバイスを得ながら少しでもくいしばりが良くなることを願う。

当分は先生と私の力くらべになりそうだ。(笑)



患者団体からの

おたより



OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会設立準備会より

2月20日(金)にOPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)の2回目の交流会を行いました。

今年に入りとても寒い日が続いていた事もあり当日のお天気や、参加者が少なかったら：といういろ心配したのですが、当日は晴天！

ぽかぽかお天気で多数の方が参加してくださいました。

みなさん普段から気にしていた事や、悩んでいる事、病気に對する不安や不満、病院の事、お薬の事、生活面で困っている事等、色々活発な意見が交わされあつという間の2時間でした。

今回の交流会の開催を約束して解散となりましたが、とても充実した時間でした。みなさんありがとうございました。次回が楽しみです。

記事提供：黒島さん



読者の声



受給者証、先月届きました。1月は問診と薬だけなのに3千円近くかかり給料日前で懐が急に寂しく頼りなくなりました。

そのうち「今月はピンチでしょ。今のところ調子も悪くないんだから通院やめちゃえば？」と心の悪魔が甘く囁きかけてきそうです。対象疾患が増えたことは嬉しいことなのに、自分のこととなると：何とも情けない限りです。

〈来週の給料日が待ち遠しいジューミーより〉

私は3年前、70歳目前の秋に皮膚筋炎が判明し現在月に1回通院しています。

やつと保健所での申請手続きや病院会計に慣れた昨年末の再申請には戸惑いました。今まで公的手続は妻任せできたツケがまわっていることを実感しておりますが(苦笑)、今後も新法による改正やその手続きについてのわかりやすい特集を期待します。

〈H.H〉

154号「表紙は語る」の宮城さんのアクティブな日常を読ませていただき楽しくなりました。私は40代の難病患者ですが、「病は氣から」ではありませんが、氣の持ちようで日常には楽しく生活していく要素がたくさん落ちてくるのに気づかせていただきました。宮城さん、ありがとうございます！

〈那覇市・会社員A・I〉

皆様のご意見・ご感想などを御寄せください。紙面でご紹介させて頂いた方には謝礼を差し上げます。詳しい応募要項は10頁をご覧ください。



お勧め映画情報

「ハリーとトント」

/ 1972年アメリカ作

区画整理でアパートを追い出された老人ハリーと愛猫のトントのハートフルなロードムービーです。映画初主演のアート・カーニーが、本作でアカデミー賞主演男優賞受賞。老人が猫と共に、どう”老後”を過ごして行くのか。

1974年の作品ですが、年寄りの一人暮らしの多い昨今にも通ずるものがあるのでは。

映画好きにも評判が高く、猫好きにも嬉しい作品です。

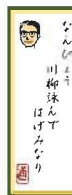
渡久地 優子

(進行性骨化性線維異形成症(FOP))

カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見てます。

難病短歌 難病川柳

難病短歌(例)



難病やそれに関わるテーマを題材に短歌・川柳コーナーをスタートします。難病がある方、家族の方、サポートする方々で日常感じている悲しみ、辛さ、怒り、笑い、滑稽、皮肉や気付いた優しさなどを短歌・川柳にして応募ください。
*採用の方には寄稿料として千円相当のクオカードを進呈します。
詳しい応募要項は10頁をご覧ください。

おばさんに 痩せたというと 腹つかみ

私の脂肪 どこあげるかね

川柳参考(例)

食べないが 模合にできれば 頭割り

解説)食事制限で体重減少したクロイン病患者の私がおばさんからいただいた必殺優しさ回答です。

炎天下 影を慕いて 急ぎ足

解説)SLEで日光障害があるため、夏日の外出は道の影を深しながら日差しを避けて早足で進みます。

今月の占い

ストレス解消法

牡羊座

3月21日～4月19日

幸も不幸も決めるのは本人

ス：日光浴

牡牛座

4月20日～5月20日

誰にも使命がある、気づいて

ス：書(道)

双子座

5月21日～6月21日

1日を有意義に使えるのは本人

ス：掃除

蟹座

6月22日～7月22日

信念が有る無しで変わる

ス：散歩

獅子座

7月23日～8月22日

休憩・休息も必要不可欠

ス：お風呂

乙女座

8月23日～9月22日

失敗してこそ成功を知る

ス：音楽鑑賞

天秤座

9月23日～10月23日

捨て身になれば、出来る

ス：昼寝

蠍座

10月24日～11月21日

因果応報、見つめ直して

ス：食べ歩き

射手座

11月22日～12月21日

愉快な心を持って、前へ

ス：カラオケ

山羊座

12月22日～1月19日

運が悪いのは思い込み

ス：瞑想

水瓶座

1月20日～2月18日

人生の目標は直感が大事

ス：土いじり

魚座

2月19日～3月20日

自分自身を信じてみよう

ス：おしゃべり

編集後記

今月号より会報誌をリニューアル、新聞や週刊誌のように右側より見開き、いきなり「表紙は語る」が縦書きになり、ずいぶん面食らった事と思います。

また読者広場としての意味合いを持たせた「アンビシャス広場」をより多くの読者が参加して頂けるよう、新企画「難病短歌・川柳」として読者投稿コーナーを新設しました。

その為、長年アンビシャス広場を支えて頂いた「ポエム」の原田安津季さま、「心の雑学」の渡久地優子さまのコーナーを止む無く終了させて頂きました。おふたりのこれまでのご貢献に深く感謝申し上げます。2コーナーともそれぞれにファンの方がおられ心残りではありますが、これまで以上に多くの読者のみな様に参加しやすい会報誌を目指して参りますので、ご理解の程よろしくお願い致します。



2015年 4月の各保健所からのご案内

【北部福祉保健所】Tel:0980-52-2704

【中部福祉保健所】Tel:098-938-9700

【南部福祉保健所】Tel:098-889-6945

【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

【八重山福祉保健所】Tel:0980-82-3241

—4月の予定はございません。

【宮古福祉保健所】Tel:0980-72-8447

●とうんがらの会（神経難病・家族のつどい）

日時:4月24日(金) 14:00～16:00 場所:宮古保健所 健康増進室

※急な日程変更があることもございますので、事前の予約確認を各自でお願いいたします。

アンビシャスからのお知らせ(短歌・川柳 投稿募集)(読者の声 投稿募集)

4月を迎え、新年度を機に会報誌の一部リニューアルを行いました。

それにともない9ページ『アンビシャス広場』を読者参加型広場を目指して

新企画:短歌・川柳コーナーをスタートいたします。

難病やそれに関わるテーマを題材にした短歌(五七五七七の31音)・川柳(五七五の17音)を読者のみな様から募集します、数多くのご応募をお待ちしています！

毎号3作掲載予定、採用された方へは作品寄稿料として1,000円相当のクオカードを進呈いたします。

【応募方法】

メール、FAX、郵送にて受付けます。尚ご応募の際は必ず下記必要事項を記載願います。

ご連絡先/住所、氏名、電話番号、メールアドレス(メール可能な方のみ)をご記入ください

その作品を詠んだ背景や解説、病名なども20~30文字以内でコメントください。

※匿名希望の方はペンネームをお願いします。

※応募された作品原稿申込書などはお返し致しませんので、あらかじめご了承ください。

※他で寄稿していない作品に限らせていただきます。

【ご応募先】

アンビシャス事務局 〒900-0013那覇市牧志3-24-29 グレイスハイム喜納2-1F

メール:info@ambitious.or.jp FAX: 098-951-0565

また、8頁「読者の声」へも引き続き皆様のご意見・ご感想などを御寄せください。

【応募方法】

メール、FAX、郵送にて受付けます。尚ご応募の際は必ず下記必要事項を記載願います。(毎月15日締切)

ご連絡先/住所、氏名、電話番号、メールアドレス(メール可能な方のみ)をご記入ください

毎号3作掲載予定、採用された方へは作品寄稿料として500円相当のクオカードを進呈いたします。

※匿名希望の方はペンネームをお願いします。

※応募された作品原稿はお返し致しませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

●驥尾の会 ●株式会社ぽーしょん ●匿名1名

2月のご寄付

●株式会社 照正組 ●新垣 真理子 ●沖縄宝島 ●宮城 義正 ●匿名 2名(物品：商品券)

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページ(TOPページ)にあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

2月のご支援・ご協力

●小波津正光さんよりFECお笑い劇場の優待チケット4枚・ウーマクーボーイズの優待チケット2枚を頂きました。

●ダイヤモンドさんより袁川翔氏特別講演会チケット2枚・あけもど総合文化祭チケット7枚を頂きました。

●琉球ゴールデンキングスさんよりホームゲーム観戦チケット18枚を頂きました。

●難病情報誌154号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

●千羽鶴ボランティアの方々

(B.B call株式会社様・デル株式会社ファイナンス部様・沖縄県のU様)

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●ココストア浦添宮城三丁目店 ●レストラン&カフェ「オン・ディッシュ」 ●フォーモストブルーシール北谷店
●MISTY本店・美浜店 ●有限会社育英堂書房 ●T.TBOWLてだこ ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく
●花野原 ●ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
●さわやか歯科クリニック ●三郎寿し ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会
●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ~ ●サウンドメール ●又吉内科クリニック
●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●さくら家さくら ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
●豚骨拉麺昇家 ●カラオケシアターDisone ●沖縄ちゃんぶるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA
●沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま
●串焼き屋あだん ●山城二輪 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア
●全保連コントロールセンター ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社大成ホーム
●照正組 ●株式会社かりさら ●上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●メディケアセンター
●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ ●株式会社いなんせ典礼 ●ジョッキハウス

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●有限会社クニオフィスサプライ ●株式会社 アイアム
●弁護士法人 岡野法律事務所 ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
●有限会社 翔南石材 ●株式会社 舜 ●しゅくみね内科 ●有限会社 ダイヤプリント ●株式会社 メガネ一番
●オリオンビール株式会社 ●株式会社 名城 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
●社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●有限会社 長堂商事 ●株式会社 アース ●プログレス
●有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●南西医療器株式会社
●株式会社 ウェルビー ●有限会社医学写真研究所 ●株式会社いなんせ典礼 ●株式会社エルダリーケアサービス

みなさま、ご支援・ご協力、本当にありがとうございます。

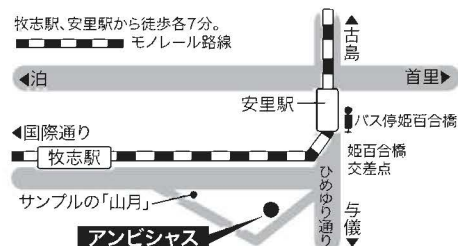
アンビシャス

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

Tel:098-951-0567(代表)

Fax:098-951-0565

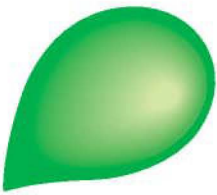
http://www.ambitious.or.jp



発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人)

理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通

私たちは、沖縄県難病相談・支援センターアンビシャスの活動を応援しています!



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒990-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL:098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの楽しさを。
Answer for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer for you. TOYOPET

複写機・OA器機リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案

KOS 有限会社
クニオフィス サプライ

本社 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号
Tel:098-879-0162(代) Fax:098-879-0198
E-mail: kos-knti@nirai.ne.jp
http://www.kunioffice.net
北部営業所 〒905-0006 沖縄県名護市大北5丁目20番25号
Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601

とちかおくちょうさし
土地家屋調査士
伊波 学
098-897-1245
http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

お墓のしょうなん
新築・修繕・建替え
お墓の年間管理いたします
◎お墓よろず相談所(無料でご自宅へ出張OK)
《見積無料》有限会社 **翔南石材**
☎945-8771 西原町字我謝688-7

ALS 脳性麻痺
筋ジストロフィーなど
重度障がい者
夜間滞在型訪問介護サービス

訪問介護とは、ヘルパーがご自宅にお伺いし、入浴、排泄、着替などの「身体介護」と掃除、洗濯、調理などの「生活援助」を行うサービスです。

- トイレ介助 ●食事・調理 ●入浴 ●着替・洗濯 ●体位交換
- たん吸引 ●おむつ交換 その他

株式会社 日本エルダリーケアサービス
でいごの花 宜野湾 Tel:098-896-1666
〒901-2201 沖縄県宜野湾市新城1-24-1 Fax:098-896-1667

協賛広告のお願い
社名、広告内容、画像など

お申込:アンビシャス事務局
TEL:098-951-0567
e-mail:info@ambitious.or.jp